

平成 26 年 8 月 18 日

南 の 風 7 3

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

遅くなってしまいましたが、マリンボールカップ女子日の結果は下記の通りです。

Aゾーン 優勝 柿生フィリーズ（川崎） 準優勝 岩間ミニバススポーツ少年団（茨城）

Bゾーン 優勝 戸塚ミニバス（横浜西部） 準優勝 藤の木ポラリスミニバス（横浜南部）

Cゾーン 優勝 榎が丘ファイターズ（横浜北部） 準優勝 請西MBC（千葉）

以上です。詳しい試合結果は、南部のホームページをご覧ください。

Aゾーンでは、柿生の強さが際立っていました。一人ひとりのスキルがたいへん高く、どこからでも得点できるシュート力は、他チームを圧倒していました。これから秋に向けて神奈川は、柿生チーム中心に回ると思います。Bゾーンは、戸塚チームが決勝で藤の木チームを接戦の末やぶりました。4番の選手のボール運び、シュート力、ディフェンス力が素晴らしかったです。Cゾーンは、榎が丘チームが12番のポストプレーを中心に、安定したオフェンス力を展開し見事優勝しました。

第35回マリンボールカップは、関係の皆様のご支援、ご協力により無事終了致しました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、8月24日（日）に『ヒューマンアカデミー横浜校』に於いて、横浜南部ミニ連盟主催による、横浜南部地区ミニ・中・高指導者交流会が開催されます。

《主旨》

- ・横浜南部地区のミニバス・中学・高校の指導者が一堂に会し、バスケットボール活動の現状について話し合い、ミニ・中・高のバスケットボール活動の発展に寄与する。

《話し合いの内容》

1 それぞれのカテゴリーにおける活動の現状について

- ・練習時間や体育館の使用状況
- ・練習内容
- ・選手の参加状況
- ・その他

2 スキル指導の共通理解

①指導者間の交流

- ・練習見学や合同練習

②指導の順序や系統（ミクロ→ミニ→中学→高校）

上記のことについて話し合い、ミニ・中・高の指導者が共通認識することによって、一貫性のある指導を模索していきたいと思っています。当日は約50名の参加があります。最終的には、それぞれのカテゴリーに所属する選手が、思う存分練習や大会に打ち込めるように、より良い環境を整備していければと考えます。交流会の様子については南の風で取り上げます。